

国際樹木根会議・日本放射化学会 ジョイントランチョンセミナー

Radiocesium in Rhizosphere

-Three and a half years after the Fukushima Accident-

福島第一原発事故から3年半経過しましたが、いまだに森林域の放射能汚染問題をどう解決していくのか先が見えません。この問題の早期解決には、研究者の協力体制が重要です。森林の樹木への放射性セシウムの吸収、それに関わる土壌中の存在状態 etc.. 樹木根と放射化学を専門とする研究者で情報交換の場をもちましよう。

コンピナー

太田朋子 (北海道大学・日本放射化学会)

竹中千里 (名古屋大学・樹木根会議)

話題提供者

- ◆ 山中高史(森林総合研究所) 菌根菌のセシウム吸収
- ◆ 出口世太郎(名古屋大学) コシアブラの菌根菌と放射性セシウム
- ◆ 野田祐作(筑波大学) ポプラにおけるカリウム輸送体発現の
季節変動とセシウムの局在
可給態セシウムの経時変化
- ◆ 田上恵子(放医研) 森林と果樹園の汚染
- ◆ 中西友子(東京大学) -東大農学部取り組みから-
タケノコ中のセシウムの分布
- ◆ 箕輪はるか(慈恵大学)

日時 : 2014年 9月11日 11:20~13:20

場所 : 名古屋大学グリーンサロン東山
ミーティングルーム

* 事前申し込みが必要です。

ランチ提供 : (株) アクタック、日本放射化学会

